

**留学先国名** : アメリカ

**留学先学校名** : ディアンザカレッジ

**留学期間** : 平成 26 年 9 月 1 日 ~ 平成 29 年 6 月 30 日

6 月、セミスター制（二学期制）の大学であれば、もうすでに夏休暇に入っている頃ですが、クォーター制（三学期制）のコミュニティカレッジに在籍している僕は、一週間後に控えている期末テストに日々準備に追われています。今学期選択している授業は Macroeconomie、Statistic、English Writing、English Reading の四つです。

今回はその中で一番苦労している English の授業についてお話したいと思います。もともとは ESL (English as Second Language) と言って、外国人留学生向けの英語をとっていましたが、今学期からネイティブの学生たちと一緒に英語の授業を受けることになりました。どちらの教授もとても熱心で楽しいですが、個人の経験により ESL の教えの方が丁寧だと感じました。先生たちはみんな易しい英語を使うように心がけているので、聞きやすいですし、理解もしやすかったです。丁寧過ぎたため、内容は簡単な割に教授の要求はとても厳しく、宿題もかなり多めです。一方、English の方では、どの教授もとてもユニークで、個性的です。授業の合間にいつも世間話を挟んだりしますが、そのおかげで今話題になっている大統領選挙の話や、ニュースになった話題などを聞くことができました。また、時間にとらわれることなく、決めていた内容が終われば授業は終わりなので、ESL と比べるとその分楽です。しかし、宿題が少ない分、コンテンツは難しくなっています。Reading の授業では、約 500 ページもある一人の作家の自伝を一ヶ月半で読まされました。第 2 言語の日本語でさえもとに本を読んでこなかった僕にとって、第 3 言語の英語での読書は本当に辛かったです。理由はやはり語彙力の不足です。最初の方は内容を完璧に理解しようと、一つ一つわからない単語を辞書で調べたりしてました。しかし、あまりにもたくさんあったので、1 個目のチャプターで諦めました。その後は、内容ではなくストーリーを一番において読んでいきましたが、意外とさりと入って来ました。後に気づいたのですが、わからない単語は形容詞が多く、文章を修飾するためのものがほとんどでした。なので、それらの単語をのぞいても内容はちゃんと理解できますし、読んでいるうちに単語の意味が自然とわかってくるケースもあります。一週間に 10 チャプター、約 100 ページの読書を耐えた今の僕は、不思議に Reading に対しての抵抗が弱まりつつあります。昔なら、気になった新聞記事があっても、長文ならさっと一目を流す程度でしたが、今では何ページもあるものを落ち着きながら読むことができます。自分でもこの成長にびっくりしていますので、本当に Reading の授業に感謝です。あくまで個人の経験ですが、僕は ESL よりチャレンジのある English の方がたくさん学べた気がしました。これからの授業はさらに読む量も増えるし、内容も難しくなるけど、諦めずに頑張っていきたいと思います。

学業とは別に、最近携わっている活動について少し報告します。今ここシリコンバレーでは大学を作ろうと動いている団体があります。SVJU(Silicon Valley Japanese University) と言いまして、2020 年までに政府からの正式承認をもらおうと今いろんな方々が力を合わせています。この大学のモットーは『世

の中の常識にとらわれない新しい挑戦ができる人材を育成、輩出し、それらの人材とともに日本発の研究やビジネスのシーズとシリコンバレーの強みとを融合し、世界に発信する』とのこと。今は申請書類の作成や模擬授業の実行をしまして、本気の大学作りをしている最中です。コアのメンバーに加え僕のような学生たちもこの一大プロジェクトの力になろうとボランティアをしています。僕はデザインメジャーなので、ショートタームプログラムのチラシ作成やバーナーのデザインなどをしています。デザインの能力はまだ未熟ですが、こういう場を通して経験を積ましてもらえることに感謝しています。また、日本からこられたユニークな学生たちとも交流ができますので、とても楽しいです。

計画では今クォーターが最後のコミュニティカレッジで秋から四年制大学に編入する予定でしたが、昨年の編入申請に間に合わず、結局この秋にアプライすることになりました。今、UC (University of California) システムの一つであるDavis校への編入を考えています。アメリカの公立大学ランキングで7位、世界ランキングでは37位に位置するUCDはいわば超難関大学の一つです。課外活動はもちろん、目指す大学への編入ができるように勉強も必死で頑張っています。親たちの反対をなんとか押し切って、応援と期待を背負ってきてる以上、悔いのない大学生活を送りたいと思います。